

「漢文」だって日本語なんです！ -漢文からまなざす日本語の歴史-

小玉 花菜

北海道大学大学院 文学院
言語科学研究室



未来社会のあるべきかたち

- ◆ あたりまえから「気づき」を発見できる社会
- ◆ 現代を生きる私達の姿を客観視できる社会
- ◆ 異文化の人とも協力し合える社会

日本語の歴史なのに、なぜ「漢文」？

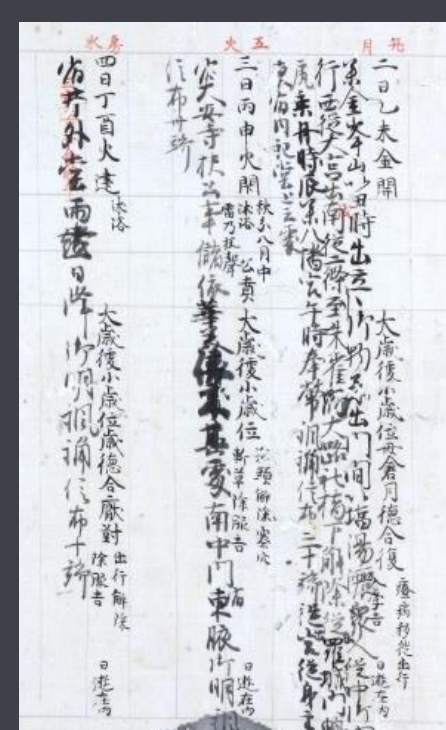
「漢文 = 中国語」というイメージだけど、間違いなく日本人は漢文を書いていたし、..

例えば、
物語・手紙・記録

「日本語を書いた漢文」がある →

しかも！

つまり、「漢文」の歴史がわかれば
書き言葉の歴史がわかる...



『御堂関白記』
(陽明文庫蔵)

「日本語を書いた漢文」は、現代書き言葉の源流とされている

日本語の歴史研究が抱える課題

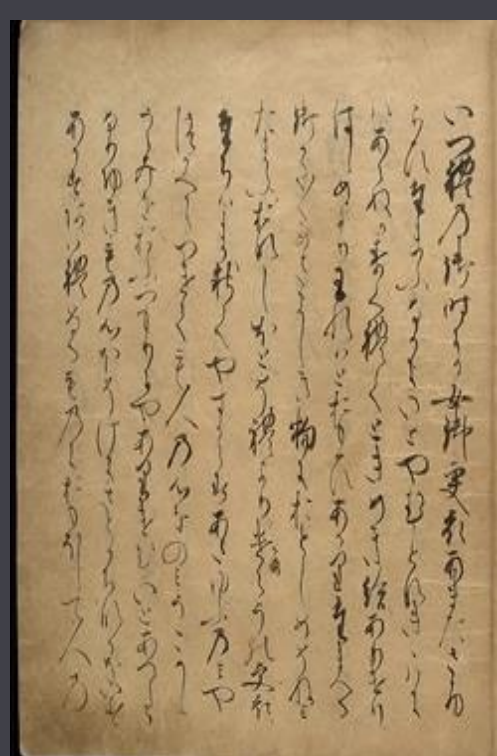
日本語の過去の姿を明らかにするには、

仮名の資料だけでなく、漢文の資料も分析する必要がある！

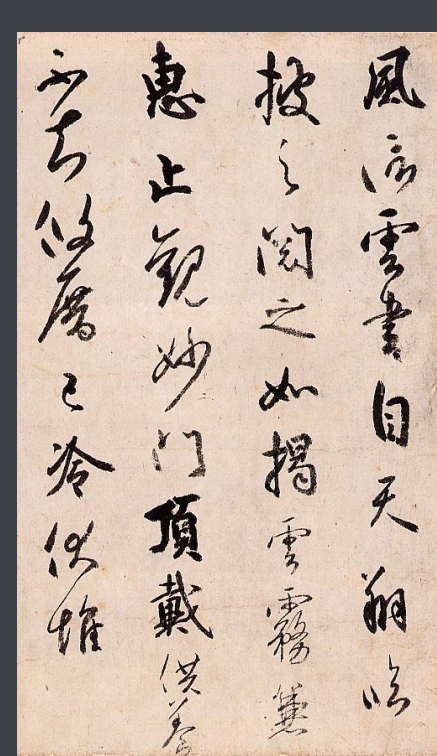
【残ってる資料の量】

〈仮名資料〉

〈漢文資料〉



河内本『源氏物語』
(蓬左文庫蔵)



「風信帖」
(東寺蔵)

【論文数】

〈仮名資料〉

〈漢文資料〉



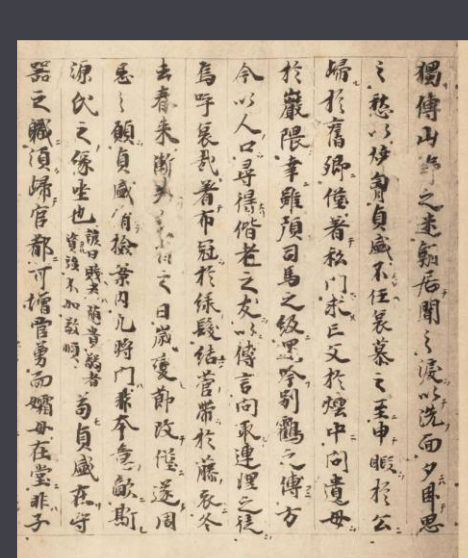
日本語研究の中心は
仮名資料

漢文研究は
まだまだ少ない...

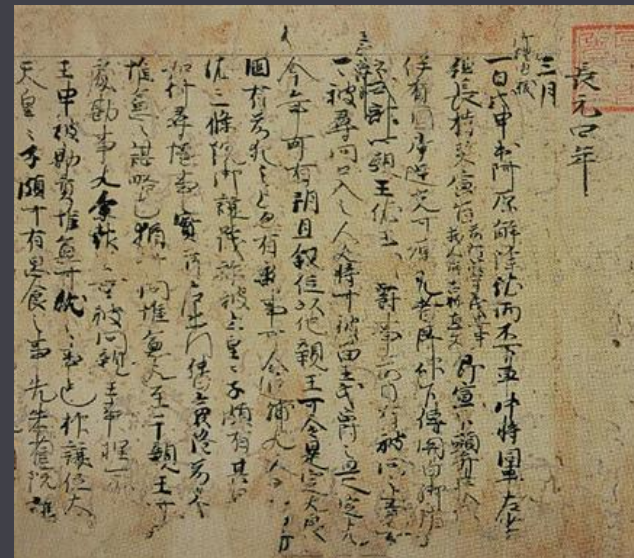
漢文で書かれた日本語の文体にはどのような特徴があるのか
を研究しています 🔍

現代日本語でいうと……
新聞と小説の違いを明らかにするイメージ

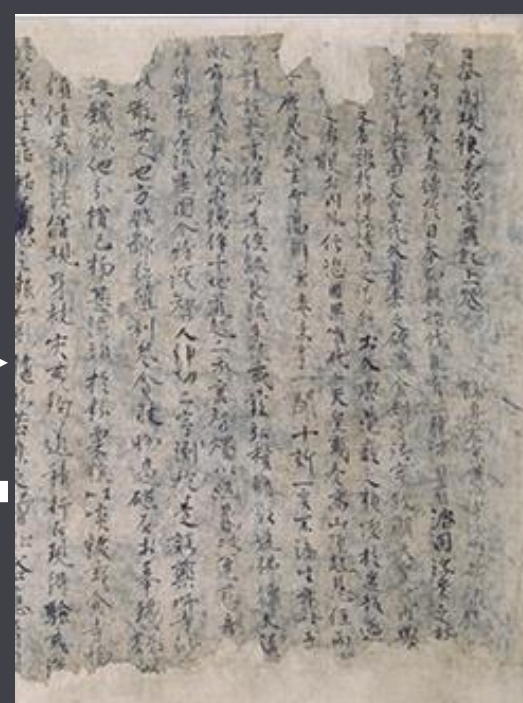
有職故実書



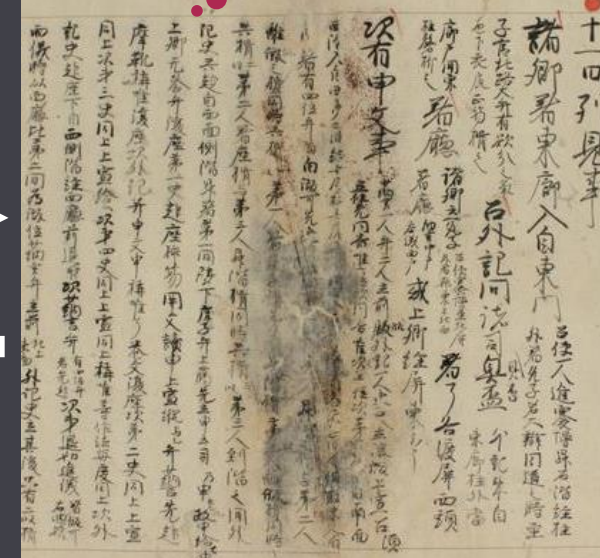
『将門記』
(真福寺蔵)



『小右記』
(宮内庁書陵部蔵)



『日本霊異記』
(興福寺蔵)



『江家次第』
(宮内庁書陵部蔵)

イメージは……

【漢文を使った日本語研究のためのインフラ整備】

「漢文研究」を通して、異文化理解の促進を実現

漢文研究を通じ、東アジア諸国の文化的繋がりと自らのルーツを知ること、国境の壁を越えたパートナーシップの構築を目指す